

第3回材料研究会／九州・西日本支部合同研究会のご案内

各種高温超伝導線材の商用生産が開始されるとともに、応用・開発も進展してきました。超伝導体には磁化緩和現象があり、それによって超伝導体の特性評価が可能となる一方、マグネット応用には磁化緩和を考慮した機器運転、データ解析が必要となります。本研究会は、九州・西日本支部と材料研究会との合同研究会として、超伝導材料および応用機器の磁化緩和特性をテーマに、多岐にわたる講師の先生方に講演していただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：超伝導材料および応用機器の磁化緩和特性

日時：2021年11月8日(月)

開催方法：Zoomを用いたオンライン研究会（申込者には別途、会議用のURLをご案内します）

プログラム：

13:30～13:40 開会の挨拶：材料研究会委員長

13:40～14:30 磁気緩和に対する粒子線照射効果：鉄系超伝導体、NbSe₂を中心に（仮）
為ヶ井 強（東京大学）

14:30～15:20 REBCO コート線材の人工ピンと緩和特性
土屋 雄司（名古屋大学）

15:20～15:30 休憩

15:30～16:20 REBCO 線材における磁化緩和特性の振る舞いと記述手法について
小野寺 優太（核融合研）

16:20～17:10 伝導冷却 REBCO コイルの磁化緩和特性（仮）
宮崎 寛史（九州大学）

17:10～17:20 閉会の挨拶：九州・西日本支部支部長

参加費： 資料代 2000 円（申込者には別途、資料をメールなどで配布します）

支払方法： PayPal もしくは 銀行振込（申込者には別途、支払いに関するメールを送ります）

オーガナイザー： 舩木 修平（島根大），木内 勝（九工大），寺西 亮（九州大）

申込先： 舩木 修平 E-mail：s-funaki@riko.shimane-u.ac.jp, Tel：0852-32-6406

① 参加者氏名，②所属，③電話・E-mail を，10月25日(月)までにご連絡ください。

11月13日(土)に、九州・西日本支部若手セミナーと九州・西日本支部研究成果発表会をオンラインで開催する予定です（別途会告案内をします）。併せてご参加をお待ちしております。